

どんぐり村の こみ・すく通信

令和7年8月12日発行 令和7年度 第10号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

上更別小での新たな活動と伝統行事

☆「オカリナサークル演奏会」

7月23(水)に、地元・上更別のオカリナサークル「スマイリーズ」の演奏会(出演者7名)が、初開催されました。

演奏曲は全6曲で、「海」や「たなばたさま」といった童謡や「あの素晴らしい愛をもう一度」(二重奏)等がありました。児童は、オカリナの特徴的な音色を間近で聴き、目と耳で楽しむことができました。



☆「花火あんどん祭り」

全校児童が一人一つずつ、授業で作ったあんどんを披露する、伝統の「花火あんどん祭り」が、7月25日(金)に開催されました。児童の1学期の頑張りを慰労するこの行事、出店もあり、見事な花火も打ち上がりました。



みんなの学校応援団の活動を紹介<その6>

ふるさとの良さを味わいながらの体験

更中1年生 遠足(地域学習)

7月15日(火)に、更別中央中学校1年生が遠足で、「ファミリーパークさらべつ」を訪れ魚釣り体験をしました。釣った魚は、「更別カントリーパーク」にある野外炊事場でさばき、焼いて食べることになりました。



釣る

魚を釣る際には、創意工夫や忍耐力も必要となります。この体験で学ぶことも多

かったのではないかと思います。

調理場での魚をさばく作業では、事前にさばき方を学習しておいたことが生かされ、苦戦しながらも3枚におろすことができました。生徒からは、達成感あふれる歓声も聞かれました。



さばく

魚のホイル焼きでも、火起こしに苦労する中で、根気良く焼くことができました。昼食で食べた魚の味は、また格別だったようです。

「釣る」「さばく」「焼く」といった工程を、豊かな自然を感じながら体験したことは、とても意義あることだと思います。この体験を通して、生徒は、ふるさと・更別の良さを味わうことができたのではないかと思います。



焼く